資料1
第３回草津市あんしん
いきいきプラン委員会

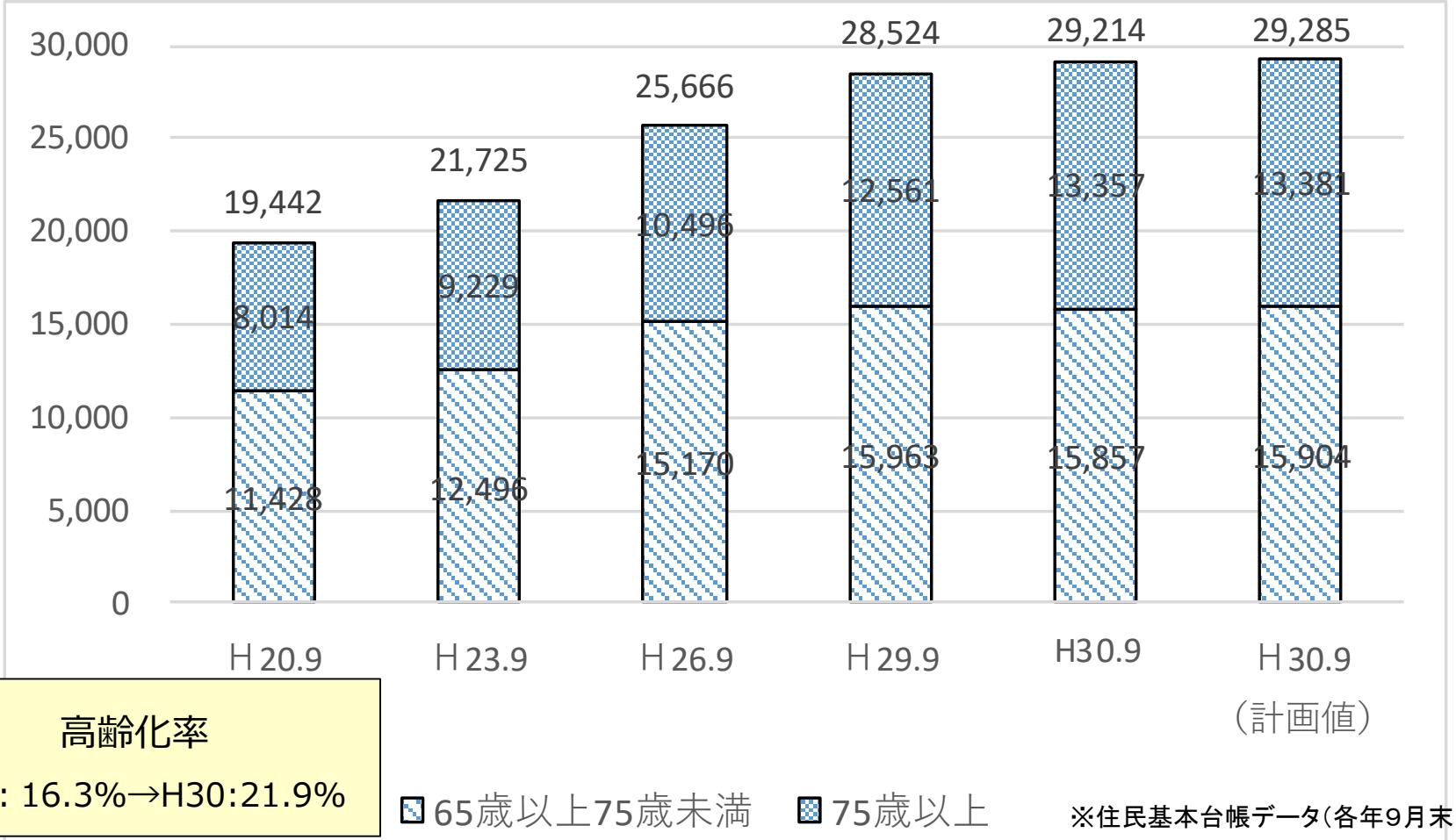
# 草津あんしんいきいきプラン
# 第７期計画の進捗について
## ～介護保険事業費について～

草津市　介護保険課
長寿いきがい課

# 1.本市の高齢者の状況

# 高齢者人口の推移

○　過去10年間（平成２０～３０年）における高齢者人口の推移については以下のとおり。
○　高齢者全体では、平成20年：19,442人から平成30年：29,214人に増加（約1.5倍に増加）。
○　65歳以上75歳未満の前期高齢者は、平成20年：11,428人から平成30年：15,857人に増加（約1.4倍）。
○　75歳以上の後期高齢者は、平成20年：8,014人から平成30年：13,357人に増加（約1.7倍）。
○　平成30年９月末時点では、計画値に比べ、実績値が全体で71人少ない。（前期：-47、後期：-24）

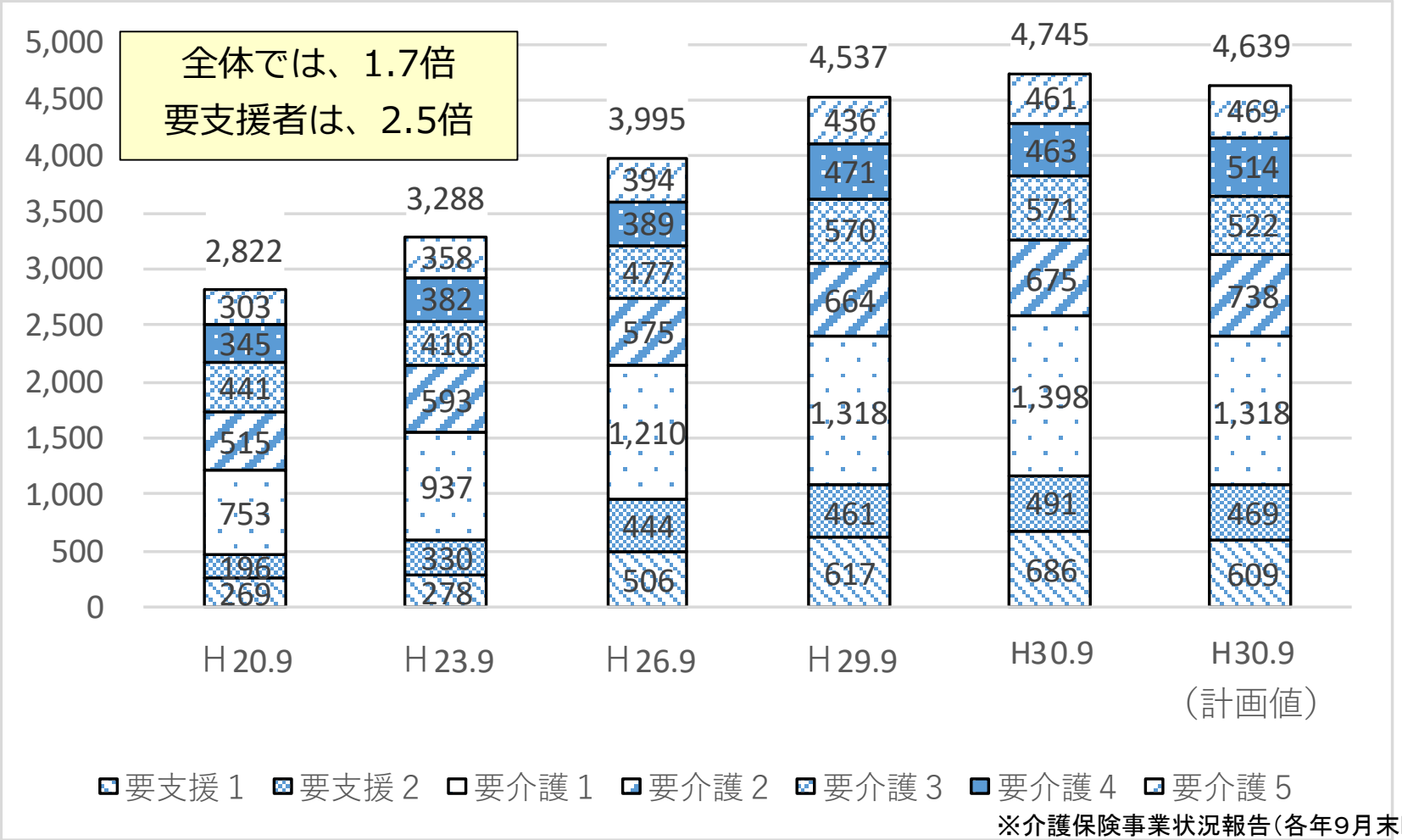



高齢化率
H20：16.3%→H30:21.9%

※住民基本台帳データ（各年9月末時点）

# 要支援・要介護認定者の状況

○　過去10年間（平成２０～３０年）における要支援・要介護認定の状況については以下のとおり。
○　要支援・要介護認定者は平成20年：2,822人から平成30年：4,746人に増加（約1.7倍に増加）
○　要支援認定者のみでは、平成20年：465人から平成30年：1,178人に増加（約2.5倍）
○　平成30年９月末時点では、計画値に比べ、実績値が全体で106人多い。（支援：＋99、介護：＋7）




※介護保険事業状況報告（各年9月末時点）

# ２.介護サービス等の状況

# 居宅介護サービスの状況

○　居宅介護サービスの給付状況は以下のとおり。【給付額（月平均）での比較】

○　主たるサービスについて、計画と比して実績が大きくなっているため、介護サービス全体として計画より給付額が大きくなっている。

| サービス種類 | 実績額　（A） | 計画額　（B） | 差額　（A－B） |
|---|---|---|---|
| 訪問介護 | 37,399,357 | 33,341,199 | 4,058,158 |
| 訪問入浴介護 | 2,241,073 | 2,187,270 | 53,803 |
| 訪問看護 | 16,287,900 | 14,583,634 | 1,704,266 |
| 訪問リハビリテーション | 1,992,605 | 1,836,144 | 156,461 |
| 通所介護 | 80,220,994 | 74,342,165 | 5,878,829 |
| 通所リハビリテーション | 20,219,873 | 22,689,532 | -2,469,659 |
| 福祉用具貸与 | 16,747,413 | 16,582,161 | 165,252 |
| 短期入所生活介護 | 17,577,741 | 18,915,458 | -1,337,717 |
| 短期入所療養介護（介護老人保健施設） | 3,008,902 | 2,903,506 | 105,396 |
| 居宅療養管理指導 | 3,112,288 | 3,062,186 | 50,102 |
| 特定施設入居者生活介護 | 7,843,154 | 9,412,127 | -1,568,973 |
| （計）居宅介護サービス給付費 | 206,651,300 | 196,735,583 | 9,915,717 |
| 居宅介護支援 | 29,103,769 | 27,651,083 | 1,452,686 |
| 居宅介護福祉用具購入費 | 480,620 | 591,119 | -110,499 |
| 居宅介護住宅改修費 | 1,252,070 | 1,686,071 | -434,001 |

単位（円）　12月審査分まで

# 地域密着型サービス、施設サービスの状況

○　地域密着型サービス、施設サービスの給付状況は以下のとおり。【給付額（月平均）での比較】
○　地域密着型サービスについて、サービス間でばらつきはあるが、概ね計画値に近い実績となっている。
○　施設サービスについては、若干計画値より実績が大きくなっている。

| サービス種類 | 実績額　（A） | 計画額　（B） | 差額　（A－B） |
|---|---|---|---|
| 認知症対応型共同生活介護 | 30,255,928 | 31,550,667 | -1,294,739 |
| 認知症対応型共同生活介護（短期利用） | 40,998 | 0 | 40,998 |
| 地域密着型介護老人福祉施設 | 35,308,334 | 33,814,836 | 1,493,498 |
| 夜間対応型訪問介護 | 31,651 | 0 | 31,651 |
| 認知症対応型通所介護 | 6,039,587 | 7,196,158 | -1,156,571 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 30,364,555 | 33,949,924 | -3,585,369 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 140,149 | 495,379 | -355,230 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 5,135,300 | 4,658,021 | 477,279 |
| 地域密着型通所介護 | 31,412,475 | 28,250,095 | 3,162,380 |
| （計）地域介護サービス給付費 | 138,728,976 | 138,503,833 | 225,143 |

| サービス種類 | 実績額　（A） | 計画額　（B） | 差額　（A－B） |
|---|---|---|---|
| 介護老人福祉施設サービス | 106,391,541 | 102,648,753 | 3,742,788 |
| 介護老人保健施設サービス | 41,573,124 | 43,625,667 | -2,052,543 |
| 介護療養型医療施設サービス | 25,336,283 | 26,107,917 | -771,634 |
| （計）施設介護サービス給付費 | 173,300,947 | 172,382,833 | 918,114 |

単位（円）　12月審査分まで

# （地域密着型）予防サービスの状況

○　（地域密着型）予防サービスの給付状況は以下のとおり。【給付額（月平均）での比較】

○　予防サービス全体としては、若干計画値より実績が小さくなっている。

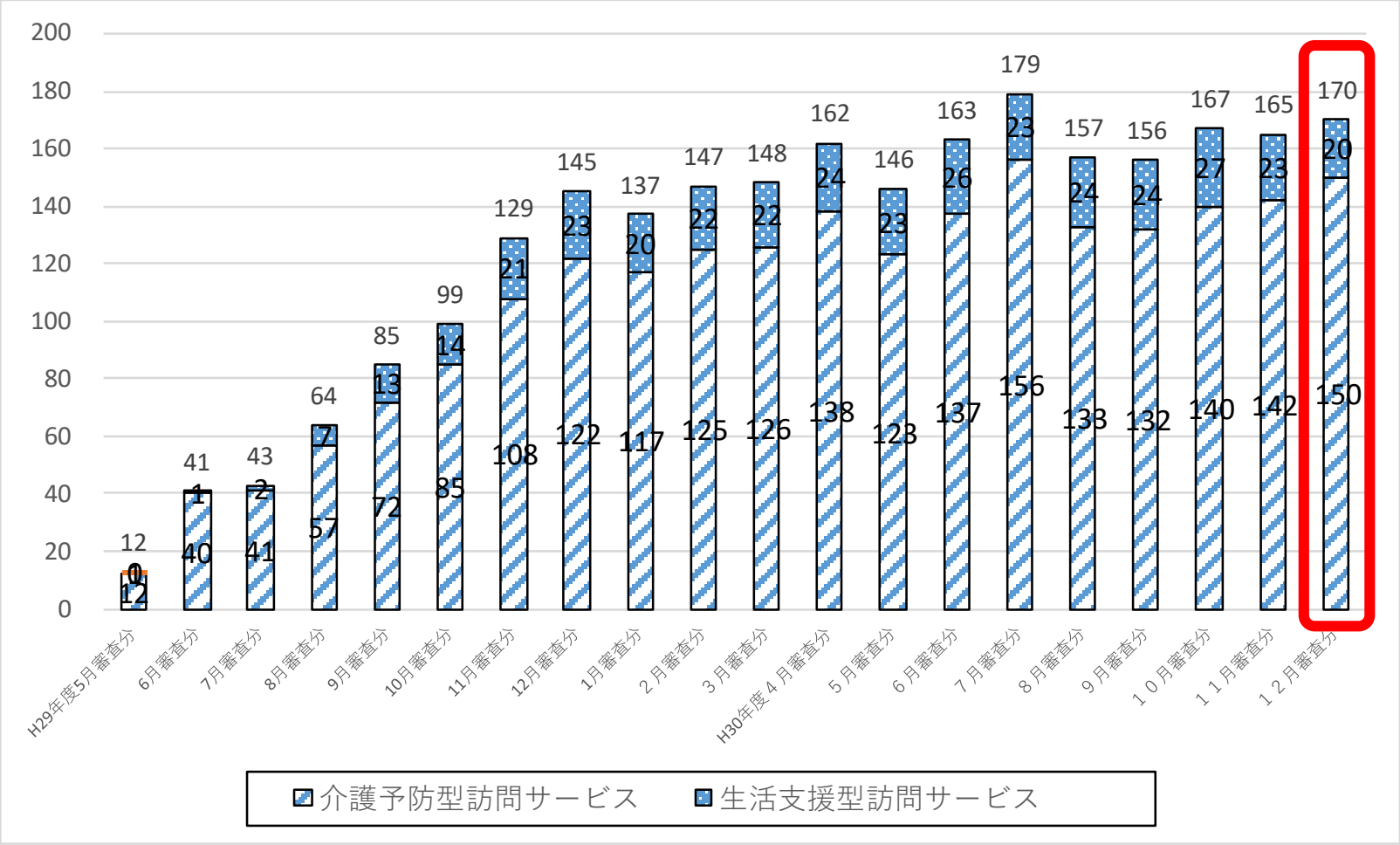
| サービス種類 | 実績額　（A） | 計画額　（B） | 差額　（A－B） |
|---|---|---|---|
| 介護予防短期入所生活介護 | 158,135 | 45,932 | 112,203 |
| 介護予防短期入所療養介護（介護老人保健施設） | 29,281 | 0 | 29,281 |
| 介護予防居宅療養管理指導 | 118,796 | 206,026 | -87,230 |
| 介護予防特定施設入居者生活介護 | 472,972 | 549,752 | -76,780 |
| 介護予防訪問介護 | 1,725 | 0 | 1,725 |
| 介護予防訪問看護 | 1,742,409 | 2,046,200 | -303,791 |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 316,961 | 165,420 | 151,541 |
| 介護予防通所介護 | 9,800 | 0 | 9,800 |
| 介護予防通所リハビリテーション | 1,737,138 | 1,609,934 | 127,204 |
| 介護予防福祉用具貸与 | 2,266,465 | 1,951,009 | 315,456 |
| （計）予防サービス給付費 | 6,853,682 | 6,583,917 | 269,765 |
| 介護予防認知症型共同生活介護 | 0 | 240,250 | -240,250 |
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 2,343 | 67,899 | -65,556 |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 836,010 | 1,310,464 | -474,454 |
| （計）地域予防サービス給付費 | 838,353 | 1,620,667 | -782,314 |
| 介護予防支援 | 2,088,660 | 2,471,083 | -382,423 |
| 予防福祉用具購入費 | 182,060 | 235,066 | -53,006 |
| 予防住宅改修費 | 1,058,317 | 1,171,254 | -112,937 |

単位（円）　12月審査分まで

# 総合事業（介護予防・生活支援サービス）訪問型サービスの状況

○　総合事業開始後の訪問型サービスの利用状況は以下のとおり。

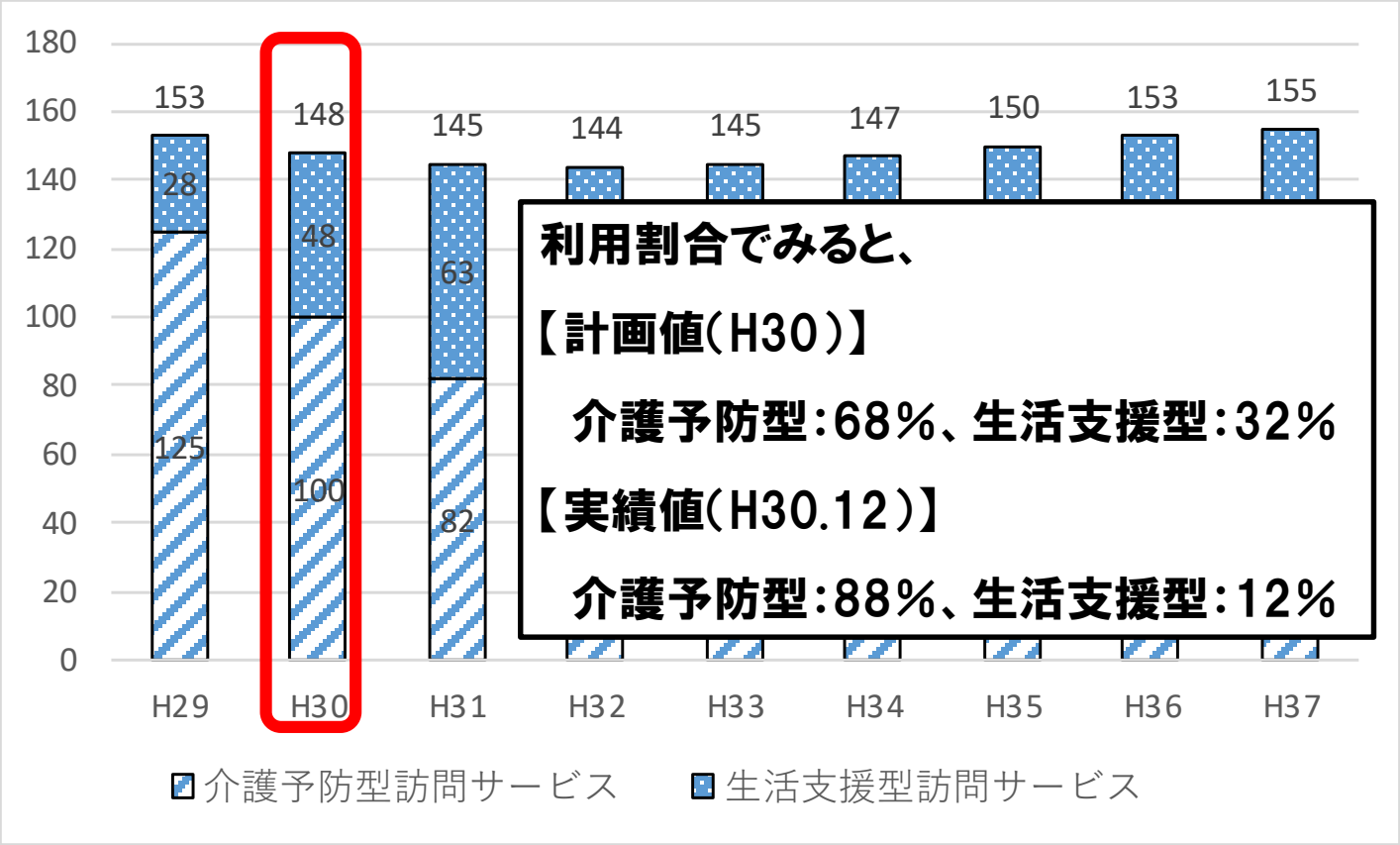
○　平成３０年１２月時点では、介護予防型訪問サービス（相当サービス）の利用が150名、生活支援型訪問サービス（緩和型サービス）の利用が20名となっている。




※国保連請求ベースで集計（過誤請求等については加味せず）

# 訪問型サービスの状況（参考：H28.7.20総合事業実施に係る事業所説明会資料編集）

## ■ 訪問型サービスの利用者数見込み



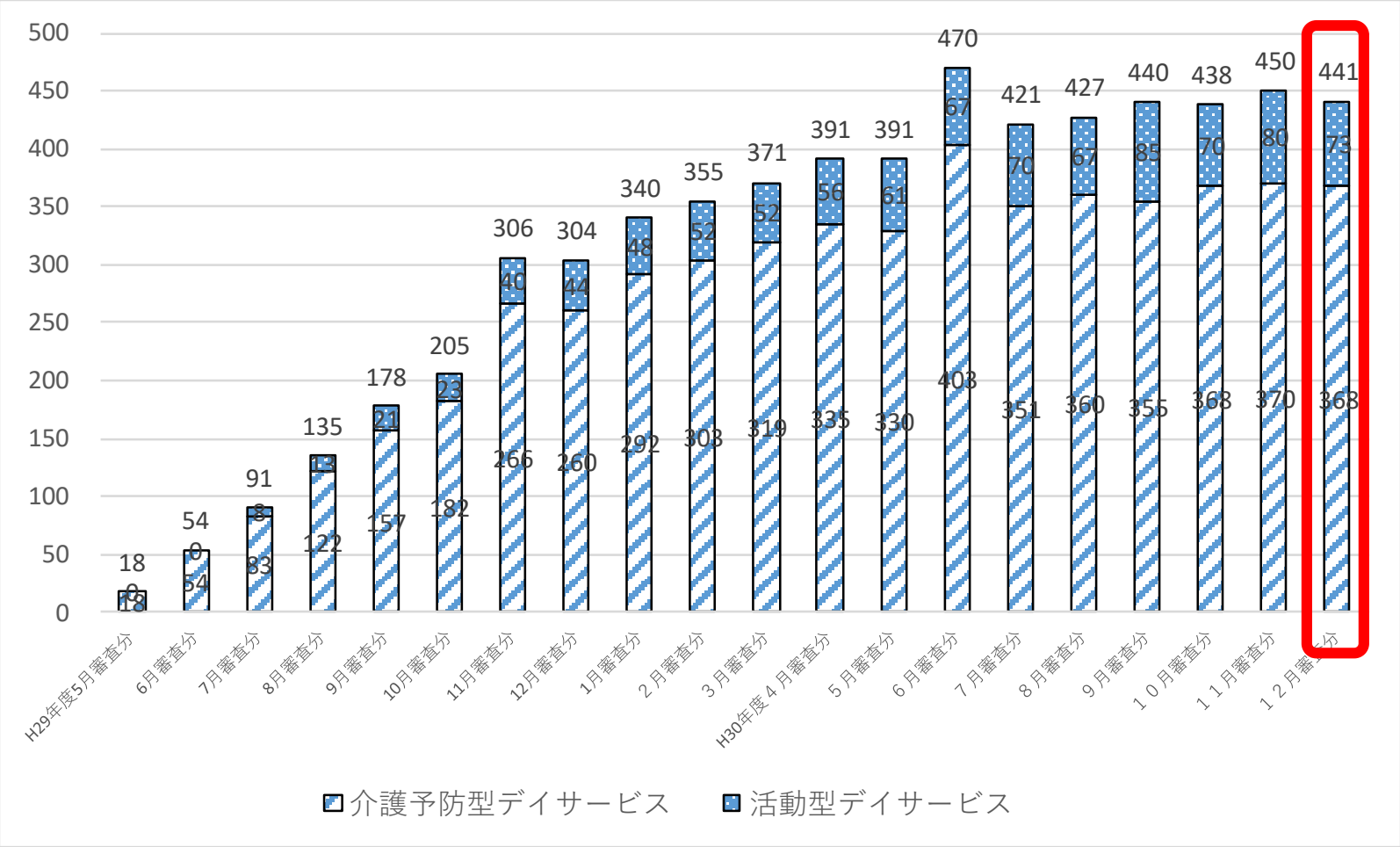

| | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 介護予防型訪問サービス | 125 | 100 | 82 | 69 | 61 | 55 | 52 | 50 | 48 |
| 生活支援型訪問サービス | 28 | 48 | 63 | 75 | 84 | 92 | 98 | 103 | 107 |
| 計 | 153 | 148 | 145 | 144 | 145 | 147 | 150 | 153 | 155 |

※住民主体のサービスを除く

# 総合事業（介護予防・生活支援サービス）通所型サービスの状況

○　総合事業開始後の通所型サービスの利用状況は以下のとおり。

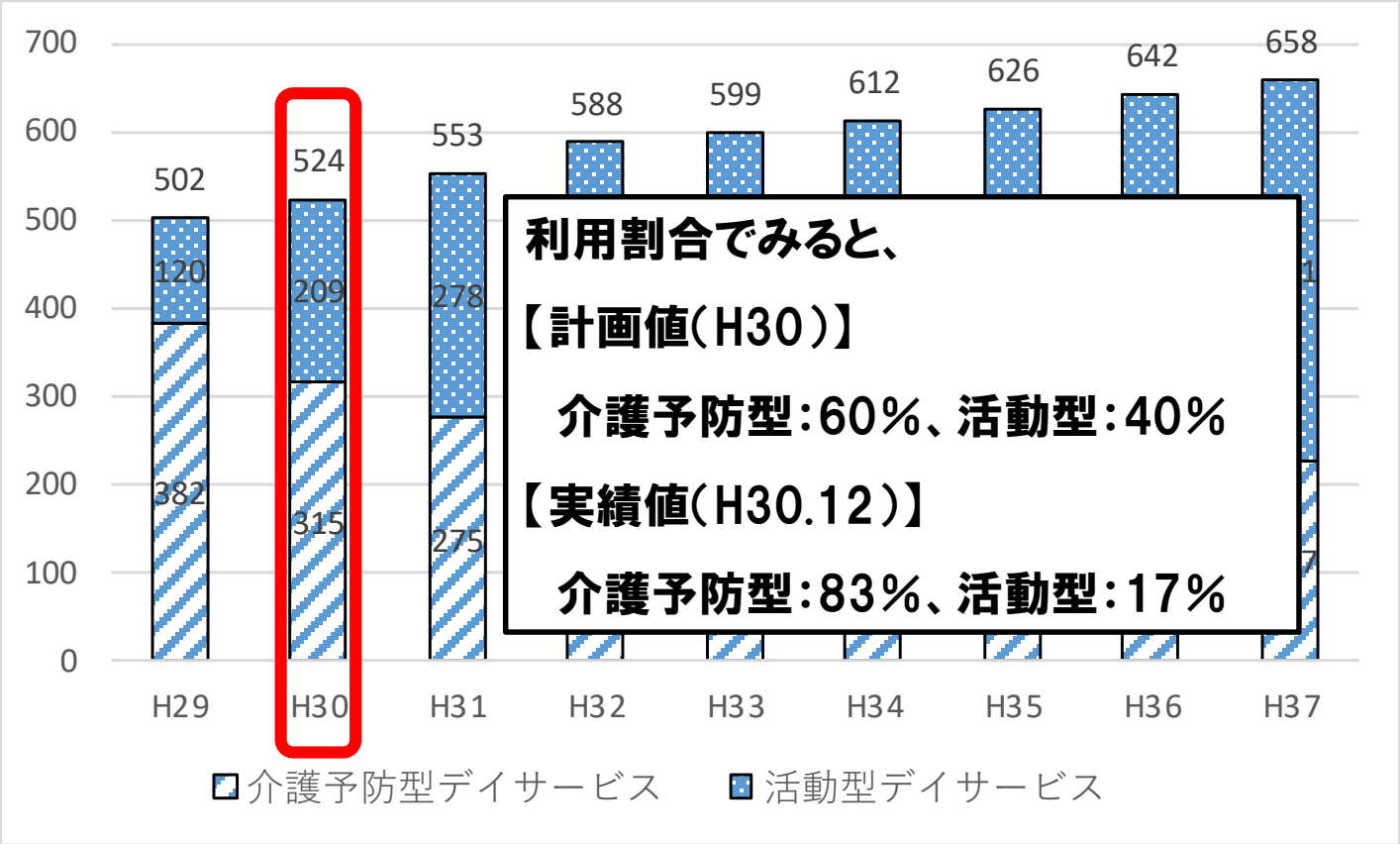
○　平成３０年１２月時点では、介護予防型デイサービス（相当サービス）の利用が368名、活動型デイサービス（緩和型サービス）の利用が73名となっている。




※国保連請求ベースで集計（過誤請求等については加味せず）

# 通所型サービスの状況（参考：H28.7.20総合事業実施に係る事業所説明会資料編集）

## ■ 通所型サービスの利用者数見込み




| | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 介護予防型デイサービス | 382 | 315 | 275 | 255 | 236 | 228 | 225 | 225 | 227 |
| 活動型デイサービス | 120 | 209 | 278 | 333 | 363 | 384 | 401 | 417 | 431 |
| 計 | 502 | 524 | 553 | 588 | 599 | 612 | 626 | 642 | 658 |

※短期集中予防サービスおよび住民主体のサービスを除く

＜背景＞

要支援・要介護認定者の増加

介護サービス事業費の拡大

今のやり方のまま、介護保険を続けていると･･･

→　保険料がどんどん高くなってしまう！

→　サービスの質の確保が難しくなる！

⇩

利用者・ケアマネジャー・サービス事業所・行政が、

このような現状と課題について同じ認識を持ち、

**自立支援・介護予防・重度化防止の取り組みを進めていくことが重要！**

【草津あんしんいきいきプラン第７期計画　関連事業】

→　介護給付等に要する費用の適正化

〇要介護認定適正化の実施

〇ケアプラン点検の実施

〇住宅改修点検の実施

〇医療情報との突合・縦覧点検の実施

〇介護給付費通知の実施

→　必要な人に適切なサービスがつながる仕組みづくり

〇介護予防・生活支援サービスの充実

〇介護予防支援事業（ケアマネジメント）・地域ケア会議の推進

→　介護予防を推進できる地域づくり

〇生活支援体制整備事業の推進

〇介護予防応援事業の推進

〇介護予防の必要性についての周知